２００１年宇宙の旅（1968）

2001: A SPACE ODYSSEY

メディア	映画
ジャンル	ＳＦ
製作国	アメリカ／イギリス
色彩	Color
時間	149分
初公開日	1968/04/11
公開情報	ＭＧＭ
リバイバル	1978/10［ＭＧＭ＝ＣＩＣ］ 1995/02［ヘラルド］ 2018/10/19［ワーナー］（IMAX）

【解説】

公開当時は賛否両論を呼んだものの、今や映画史上のベストテンに必ず入る、殿堂入りの名作ＳＦ。人類の夜明けから月面、そして木星への旅を通し、謎の石版“モノリス”と知的生命体の接触を描く。一応のストーリーはあるが、映画はその物語性を放棄し、徹底した映像体験で構築されている。猿人の眼前に屹立するモノリス、それに触れた猿人が骨を武器として用い他の猿人を打ち殺し、空高く放り投げられた骨は一瞬にして宇宙船へと変わる－－その、史上最も時空を超えたジャンプ・カットを後に、舞台は宇宙へ移行する。『美しき青きドナウ』や『ツァラトゥストラはかく語りき』といったクラシックをＢＧＭに、悠々と描き出される未来のイメージ。そして、木星探査船ディスカバリー号での淡々とした日常業務。やがてコンピュータＨＡＬ９０００に異変が起こり、ボウマン船長は光り渦巻くスターゲイトをくぐり抜けスター・チャイルドとして転生する……。訳知り顔で、作品の根底に眠る意味を解く必要はない。座して体験せよ、そういうフィルムなのだ。

なお上映時間については冒頭の序曲、途中休憩のインターミッション、そしてエンドクレジット以降の終曲の全てを含めた上映時間で、一部のVHSではインターミッション部をカットした１３９分の商品も存在する。また、５０周年記念となる１８年にはワーナー・ブラザースがクリストファー・ノーラン監督監修のもとオリジナル・カメラネガからデジタル処理を介すことなく、フォトケミカル工程のみによる７０㎜ニュープリントの作成を行い第７１回カンヌ国際映画祭でプレミア上映され、その後世界各地で巡回上映が行われた。その際、６８年の公開当時の映像と音を忠実に再現すべく、当時と同じ６チャンネルサウンド、上映前、インターミッション、終映時の音楽も完全再現が試みられた。日本でも１８年１０月に国立映画アーカイブにて、「世界視聴覚遺産の日」の特別記念イベントとして上映が実現。

【クレジット】

監督	スタンリー・キューブリック	Stanley Kubrick	
製作	スタンリー・キューブリック	Stanley Kubrick	
原作	アーサー・Ｃ・クラーク	Arthur C. Clarke	
脚本	スタンリー・キューブリック	Stanley Kubrick	
	アーサー・Ｃ・クラーク	Arthur C. Clarke	
撮影	ジェフリー・アンスワース	Geoffrey Unsworth	
	ジョン・オルコット	John Alcott	
特撮	ダグラス・トランブル	Douglas Trumbull	
編集	レイ・ラヴジョイ	Ray Lovejoy	
出演	ケア・デュリア	Keir Dullea	デヴィッド・ボウマン
	ゲイリー・ロックウッド	Gary Lockwood	フランク・プール

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

	ウィリアム・シルヴェスター	William Sylvester	ヘイウッド・Ｒ・フロイド
	ダニエル・リクター	Daniel Richter	月の監視員
	レナード・ロシター	Leonard Rossiter	アンドレイ・スミスロフ
	マーガレット・タイザック	Margaret Tyzack	エレーナ
	ロバート・ビーティ	Robert Beatty	ラルフ・ハルヴォーセン
	ショーン・サリヴァン	Sean Sullivan	ビル・マイケルズ
	アラン・ギフォード	Alan Gifford	フランクの父
	アン・ギリス	Ann Gillis	フランクの母
	エド・ビショップ	Ed Bishop	
	ケヴィン・スコット		ミラー
声の出演	ダグラス・レイン	Douglas Rain	ＨＡＬ９０００

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.